

香川短期大学 入試問題〔出題の意図〕

2022年入試（2022年4月入学生対象）から、以下に記した「国語」、「総合問題」及び「小論文」の出題意図により作成した入試問題により評価しています。

* 今後、教科変更や出題意図の変更があった場合には、本ホームページにて、周知をいたします。

【現代の国語・言語文化(古文・漢文を除く)】

高等学校学習指導要領に示された内容に基づき、大学での学習活動の基盤となる、言語による思考・認識の能力を評価する。具体的には近代以降の文章をもとに、文字力・語彙力・文法力など言語にかかわる力、思考力・読解力にかかわる力、さらにそれらを文章として表出する力を総合的に評価する。

【大問一】

既刊の評論や論説、教養新書や実用新書の一部を元に出題し、文意・文脈あるいは文の構造を適切に把握できているか、また筆者の主張を正しくみ取るとともに適切に要約できているかなど、その読解力や文法力を主に評価する。

【大問二】

近現代の日本の小説を元に出題し、人物描写を理解したうえで、語句や話し言葉を的確に理解できているかなど、その読解力や登場人物の心情の表出力を主に評価する。

【大問三・四】

漢字、読みがな、四字熟語、慣用表現などについて、箇条書きの出題や1000字程度の短い文章を用いた出題により、基本的な語彙力を評価する。

【総合問題（英語Ⅰ・数学Ⅰを含む）】

【総合的な問題】大問1～3問程度

- ① ある国や特定の地域、また時代をテーマとして、地理・歴史・人物・生物・制度など、現代の知識や一般社会常識の習得・理解を主に評価する。
- ② グラフや表、また現代の社会問題を提示し、その理解やとらえ方について問うとともに、自分の考えを含めた表出力を評価する。

【英語コミュニケーションⅠ】大問2問程度

語彙力・文法力・読解力などの総合的な英語力を問うため、文章題は当然英語であるが、設問自体も英語とする場合がある。また、単なる和訳だけではなく、筆者の考えなどを書く表出力、また、時事的な文章内容をできるだけ取り入れることにより、英語力とともに、社会事象や時事問題への関心についても評価する。

【 数学Ⅰ 】大問 2～3 問程度

高等学校学習指導要領（数学Ⅰ）に基づいて、基本的な数学の知識と技法を理解しているかを確認するとともに、論証問題なども出題する。全体を通して、基礎計算力・判断力・表現力、および論理的思考力を評価する。

【 小論文 】

大学教育、またその専門分野を学ぶうえで必要な基礎学力をはかるために、『テーマ』を提示するとともに、そのテーマに関する文章（400～800 字程度）を記載し、テーマ問題に対する意識や自身の経験を問い、「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」等を評価します。

<評価の観点>

1. 文章量
2. 文章作成能力・論理性・表現力
 - ① 文章全体の論旨
 - ② 自らの体験や読書経験
 - ③ 主張の根拠・結論の妥当性
3. 書式及び語彙の正確性・妥当性